



学校だより

がんばる心

がっこうちょう いしかわ ひでこ
学校長 石川 秀子

11月21日(火)に中区児童音楽会が開催されました。中区児童音楽会は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、この数年間は集合開催を見合わせ、ビデオ交流で中区の各学校の発表をお互いに聞きあってきました。県立音楽堂での集合開催は4年ぶりです。当日の音楽朝会には、全校児童を前に緊張の面持ちで合唱やリコーダー演奏に取り組む4年児童の姿がありました。朝早い時間にもかかわらず、多くの4年生保護者の皆様、ご参観と応援ありがとうございました。午後の演奏本番ではひとときのびやかに歌い演奏に取り組んだ4年生です。

4年生が合唱に取り組んだ曲は「がんばる心」です。音楽室や体育館から聞こえてくる練習の歌声に、私はいつも励まされています。

11月17日(金)「全国小学校理科研究協議会研究大会 神奈川大会」(全小理)ではこの歌詞そのままの姿の立野の子どもたちがいました。瞳を輝かせ、のめりこむようにして学習活動に取り組む姿、データをもとに真剣に語り合う姿、振り返りに各自取り組む時のしんとした集中力。全国からの参観者は各教室にいっぱいになり、実験したりグループで話し合ったりする子どもたちのすぐ横まで入っていたにもかかわらず、いつものように学習活動に取り組む立野の子どもたちの底力に、私たちも驚きました。

後日いただいた感想では、立野の子どもたちと先生方とで作る学びに多くの方々が共感しほめていただきましたが、特に多かったのが「保護者ボランティアの方々のきめ細かな配慮がありがたかった。」などのPTAの皆様の協力のすばらしさに対する賞賛の言葉でした。学校研究は、地域・保護者の皆様のご理解・ご協力のもと、子どもと全ての教職員と地域・保護者の皆様が一体となった共同研究です。子どもたちを励まし、毎日学校に送り出していただいています。保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

これからも、子どもたちの安心安全を守りながら、おとなも子どもも「チャレンジすることは楽しい」と思える毎日を、皆様と一緒に作り続けていきたいと思えます。

寒暖差の激しい毎日ですが、冬の寒さは着実に近づいてきています。インフルエンザ等の感染症の流行が心配される季節でもあります。地域・保護者の皆様もどうぞ健康にお過ごしください。今月もよろしくお願いたします。

がんばる心
渡瀬昌治 作詞

がんばれ がんばれ
小さなからだを大きく見せて
がんばれ がんばれ
小さな心に火をともし

夢をもてば強くなれる
君の夢に汗を流せ
流した汗はエネルギーに変わる

がんばれ
君の瞳を輝かせ
がんばれ
石のように強い心をもって

チャレンジすることは楽しい
情熱と夢をぶっつける
その先には希望の花が咲いてる

がんばれ
君の瞳に贈るエール
がんばれ
届けよう君へ 応援してる